

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

来春の薔薇に夢を乗せて

今年のバラの季節は、開花時期になると雨が降ることが多くて、緑化相談には雨で痛む株の話を始め病気の相談が多くありました。気温が高めで雨が多いので、バラの生育はどの家庭でもよかったと思います。剪定と誘引と土づくりは「バラ仕事」のポイントです。どのシーンでどんな風に大好きなバラを見たいのか？バラの魅力を引き出すのは誘引力ですね。剪定のポイントは「使う枝と切る枝を見極めること」冬の間、春の庭を何度もイメージしてほっこりする時間を大切に過ごしたいものです。
(たかはし)



今月の便利

日々の流れは速いもので

平成最後の師走となりました。冬期間の保存食、漬物は漬けられたでしょうか。私が子供の頃はどのお宅でも軒先に大根が干され、足元には白菜や体菜が秋の日差しを浴びているのが秋の風物詩でした。この風物詩も平成の初期から影をひそめだし、近年ではほとんど見られなくなりました。漬物の素材に対する重石の重さ、微妙な塩加減など、先祖から伝承された「我が家の味」が消えつつあり、残念なことだと思います。三世帯同居は当たり前前の時代から今は核家族化し、漬物だけでなく料理などを含めて「我が家の味」は伝承されなくなり、今は野菜類を手ごろな大きさに切り、市販されている漬物の元（浅漬け・キムチ）と一緒にビニールの袋に入れもむだけ、30分もすると食卓に並ぶ時代です。何かしら淋しさを感じるのは私だけでしょうか。
(ながやす)

葉牡丹

葉牡丹は日本の冬の園芸の定番です。雪に覆われる北海道でも晩秋の花壇や、正月などに紅白のめでたい寄せ植えなどで楽しむことができます。2年草、もしくは多年草に分類されていて岩見沢でも越冬が可能です。2年目は地上部が枝分かれして大株になり花壇で素晴らしい存在感を發揮します。どうぞ寄せ植えなどで楽しんだ後は庭に植え替えて見てください。余談ですが実は同じアブラナ科で食用のケールも越冬できるので、我が家では秋に畑を整理した時ケールだけ残して春に葉が出てきたらジュースに使います。
(きのした)

1年の最後に

なんだかあっという間の1年でしたね。こしは天候の変化が気になった年でした。春の雪解けは早く、バラは寒風にさらされました。その後まるで梅雨のような長雨が続き、豆やトウキビやソバの成長が遅れました。台風で木が倒れたりしました。いつまでも雪が降らないのは庭の片付けができてよかったけれど、暖冬といわれていて来春の害虫の発生が心配になります。来年は穏やかな一年になってほしいと願っています。
(いとう)

「今月の便利」次ページへつづく⇒

樹の組曲

今から百年ほど前、フィンランドのシベリウスが作曲した5つのピアノ曲集です。そのなかで最も有名なのが第5曲「スプリース」。曲は凛々しい姿のイメージではなく少し寂しい雰囲気を出しており、この季節にぴったりなのかもしれません。スプリースとはトウヒの仲間のことで、北海道では郷土樹木のアカエゾマツ、移入樹種で鉄道防風林に利用されているヨーロッパトウヒと公園樹のプンゲンストウヒが有名。ところで曲の日本語名は誤訳され「縦(もみ)の木」になっています。(かわはら)



バラ園

外が終わって、今度は・・・

雪囲い作業が終わって、やれやれ・・・とひと息ついたところで、今度は色彩館大温室のつるバラの剪定誘引です。高さ4mもあるので、足場を組んで作業をします。

室内公園 色彩館



皇帝ダリア

Dahlia Imperial

キク科テンジクボタン属(ダリア属)

高〜く伸びた茎の先にパッとピンクっぽい薄紫のしなやかな花をつけます。高さは大きいもので6mほどになり、遠くてどこに花が咲いているか分からなくなるし、見上げて首がいたい(笑)。色彩館では今年から花壇から鉢へ移し、あまり大きくなりすぎないように管理しています。それでも十分大きいんですけど…。花言葉は「乙女の真心」

今月の開花情報



【知恵袋】貧血は恐ろしい・・・ 野菜から鉄分を・・・

鉄分が足りなくて貧血？鉄と血はどういう関係があるんですかー？血液中で酸素を運ぶヘモグロビンという物質は、鉄が材料の一つなのです。鉄不足で赤血球が減って血液が薄くなると、目まいや体調不良に…つまり貧血になるというわけです。

【ほうれんそう】

「緑黄色野菜の王様」とも言われ、ビタミンや鉄を両方含み、カルシウムなどミネラル類も豊富に含む、栄養価の高い野菜です。

【春菊】

ビタミンB2・C・E、カルシウムや鉄などミネラル類も含む栄養価の高い野菜。カロテンの量はほうれんそうを上回ります。

成長期の子ども達の鉄欠乏が非常に多くの症状の原因にもなっています。冷え性、疲れやすさ、頭痛、ニキビその他いっぱいです。お野菜からの鉄を吸収しやすくするにはビタミンCや動物性食品と一緒にとるといいですね。お茶やコーヒーも吸収阻害になりますので、お食事中は水にしましょう。

チョット
いっぷく



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第五十六回

ハイブリッドルゴサローズ

リンダ キャンベル

Linda Campbell

作出国：アメリカ

作出者：Moore

作出年：1990年

ハーディネスゾーン：Z4

繰り返し咲き性

交配：Anytime×Rugosa Magnifica

当園入口は赤系統のバラで揃えています
が、リンダ キャンベルは特に目を惹く存在
です。高さは人の背丈ほどになり、横張りの
枝を悠々と広げ、深紅の花でお出迎えし
てくれます。以前、それを見たお花の先生
が『おもてなしの赤ですね！』とおっしゃっ
てくださったのがとても印象的で、まさに
その通りと感じます。ややベルベット調の
深紅の花が房咲きとなり、花保ちも良いの
でブーケのようなかたまりが楽しめます。
秋花はもっと色に深みが増し、エレガント
な印象になります。枝がよく伸びますので
誘引もできますが、枝も丈夫でトゲは少な
いかわりに1本1本が鋭いので扱いには注
意が必要です。耐病性に優れていて、耐寒
性もハーディネスナンバー4と岩見沢では
余裕です(少雪がちょっとコワイですが)。
これからの季節、野生動物の食害などに少
し注意を払ってみてください。

ハイブリッドルゴサ系統(以下ルゴサ)
ですが残念ながら香りはあまりなく、トゲ
もそれほど多くなく、葉は光沢がありますが
シワはそれほど深くありません。しかも
ルゴサではめずらしい赤花で、ちょっとル
ゴサらしからぬ風貌です。交配を見てみる
と、ミニチュアローズで赤色の Anytime、
HRg でハマナシのようなピンク色の Rugo

sa Magnifica となっています。なんとミニ
チュアの血を引いているなんてビックリで
す！樹だって全然小さくないし！作出者で
ある Moore 氏は 300 種類以上のミニバラ
を作出したパイオニアで、“King of the
Miniature Roses” の異名を持つお方です。
そんなお方の作出品種だから、ミニバラの
血が入っていないと逆におかしい…とも思
えてしまいます。また同氏によると、ミニ
チュアのほうを seed 親にすることでルゴ
サの性質に圧倒されないのだとか。ちなみ
に両系統は染色体の数が一致するので交配
しやすいそうです。やっぱり交配ってとて
も不思議ですよ～。『ルゴサはずっと見過
ごされてきた。耐病性と斬新さをバラにも
たらす可能性がある。』と、ルゴサに興味を
持っていたようです。Moore 氏作出のルゴ
サでは、こちらルゴサではめずらしい黄
色の“トパーズジュエル”や、クシュッと
したフォルムが可愛い“ラウンタウト”
を当園で見ることができます。

Moore 氏の育種の遍歴を見ていくと、モ
ス系統や絞り模様などの様々な種類を取り
入れて常に挑戦してきたことがよくわかり
ます。『育種は楽しい冒険だ』という彼の冒
険は、101 歳でナーセリーを閉鎖するまで
と～っても長い間続いたのです。

クリスマス オカリサコンサード

12/9(日) 14:00 開演

場所：いわみざわ公園バラ園内
室内公園「色彩館」 大温室

入園料：高校生以上 100円
小中学生 50円

※幼児無料

※障がい者手帳ご提示で

ご本人様と付添人様1名無料

バラ園でとれた
ローズヒップを使った

てづくり

リース

販売しています♪



今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



●12月2日(日) 13:00~15:00

ローズヒップでクリスマスリースをつくろう

料金：1,000円 定員：10名 講師：バラ園スタッフ

●12月8日(土) 13:00~15:00 体験してみよう! 樹木の香り

料金：無料 定員：40名

講師：脇田 陽一さん 道立総合研究機構 林業試験場

●12月22日(土) 13:00~15:00 お正月のアレンジメント

料金：3,000円(容器込) 定員：40名

講師：秋元 千秋さん フラワーデザイナー

●1月13日(日) 13:00~15:00 折バラを楽しもう 中級

料金：無料 定員：15名 講師：バラ園スタッフ